

# ガーデニング



よい土

良い土は、水やり後数時間たつと、水が自然に流れ落ちて、空気と水を適度に保つ。水のやり過ぎで植物を枯らすことはない



わるい土

びっしり土や砂の粒子が詰まって隙間がないと、根は窒息する。鉢底をふさいでも、同じような状態に



Oh No!

おき  
の  
秘  
け  
つ  
は  
す  
き  
間  
に  
あ  
り  
ま  
す

お  
き  
の  
秘  
け  
つ  
は  
す  
き  
間  
に  
あ  
り  
ま  
す



土づくりの基本比率だ"ニヤ"



農家は土を耕して固相、気相、液相のバランスを整え、おいしい作物を作っている

バランスが大事



おおきに



プレゼント

特選培養土「バイオKyu」5.5kg・450円を10人に。厳選した赤玉土、腐葉土を使い、微生物やミネラルなどを理想的に保持しています。土壌の基礎体力がアップし、骨太で元気な植物を育てます。花、野菜、観葉植物用。23才の応募要領で。プレゼント番号=30、賞品名=バイオKyu 提供=ガーデンショップ金久 <http://kanekyu.sblo.jp/>



【ため水はNG】  
せっかく良い土を使っても、鉢の底をふさいだり、鉢の下に皿を置いて水をためたりすると、空気が入るはずの隙間にも水が詰まります。3相のバランスが崩れると、根が窒息してしまいます。



良い土で育てるとクリスマスローズもイキイキ！ 写真提供 / 中道徹三郎

## 【良い土で元気な植物を】

ガーデニングの基本は土作り。土の仕組みを知れば、失敗の原因や、水やりや肥料のコツも分かります。市販の土を使う時の改良にも役立ちますよ。カスラのようにフカフカして水はけが良く、水持ちの良い土を目指しましょう。

- 【良い土は4・3・3】  
土は砂や粘土、有機物などの小さな粒子と、その隙間からできています。
- 土、有機物、土壌改良材などの固まり(固相)
- 土の中に水を保てる小さな隙間(液相)
- 土の中に空気が入る大きな隙間(気相)
- この3相のバランスが土の良し悪しを決めます。土全体の体積は、固相4・液相3・気相3の割合が理想的です。
- 【土の中の隙間を極やす】  
同じ大きさの丸い砂や細かい粘土だけでは、土の中に水や空気を保つ隙間ができません。根は窒息して死んでしまいます。そのため、有機物(ピートモス、腐葉土)や通気・水持ちが良い土壌改良材を加えます。関西のブロの苗作り農家は、山土4・ピートモス4・パーライト・パーミキュライトを基本に、独自の配合を工夫しています。
- 【水はけを良くする工夫】  
粗い土を使う、土壌改良材などの混ぜ物の種類を多くするなどして気相を増やすと、排水が良くなります。また、鉢穴を大きくする、深鉢を使うなどでも、土の中の水分は早く下に落ち、土は乾きやすくなります。
- 【土をかき混ぜリフレッシュ】  
土を耕して固相、気相、液相を整えると、植物は気持ちよく水、酸素、肥料を吸収できます。大きな盆栽や観葉植物を定期的に植え替える理由の一つが土の相を整えるためです。